

## 【事例2】

(調査日：平成28年11月7日・12月1日)

事例名	一人暮らし高齢者に対する配食サービス
地域	千代田地区
実施主体	とまとの会（代表 真野 初枝）
活動要約	交流と安否確認を目的に一人暮らし高齢者にお弁当を配る
主な分野	「配食サービス」「見守り」
主な関係者	白井・千代田地域包括支援センター、千代田地区民生委員・児童委員協議会、千代田地区社協等

### ■活動のきっかけ・経緯

○平成11年2月に、食生活改善推進員養成講座を受講したメンバー12名で発足。調理師免許を有する代表を中心に地区社会福祉協議会、地区の高齢者クラブの支援を得つつ、千代田荘を拠点に活動が始まった。

### ■活動内容

○月1回、地域の一人暮らし高齢者に対しお弁当を作り、配食している。メンバーで協力して食材の買い出し、配食日の前日には下ごしらえをする。

○お弁当を配る際に、何か気になる点があれば、代表に報告し、代表がとりまとめたものを社会福祉協議会のボランティアセンターに報告する。ボランティアセンターから、地域包括支援センターや民生委員・児童委員につなぎ、安否確認等をしてもらう。内容については、とまとの会にフィードバックしてもらう。

○毎年12月には、「お楽しみ会」を開催し、配食の対象者、地域の関係者等を招待し、フラダンス等の発表、ビンゴ大会等を行い、懇親の場としている。

### ■ポイント・工夫している点

○食材については、メンバーには農業をしている方もいるので、無償で提供していただけるものを有効に活用している。弁当箱は、市内の工場から寄附していただき、食材以外のコストが削減できるように努めている。

○配食時、個人の領域には余り立ち入らず、基本的には健康面に気を配るようにしている。

○認知症気味の方が増えているので、地域包括支援センター、社会福祉協議会とも連携しながら、目配りが出来るように努めている。

### ■課題と今後の展開

○設立当初からのメンバーは現在6名。近所の若い世代に手伝ってもらえないか声かけしているが、後継者の育成は課題である。

